

## 令和元年度 第2回 区民と区長との懇談会 報告書（仲町地区）

○日時 令和元年6月26日(水) 14:00～16:00

○会場 仲町地域センター レクリエーションホール

○出席者 区民27名

区側17名

区長、政策経営部長、総務部長、危機管理室長、区民文化部長

産業経済部長、健康生きがい部長、保健所長、福祉部長、子ども家庭部長

資源環境部長、都市整備部長、土木部長、教育委員会事務局次長

地域教育力担当部長、仲町地域センター所長、広聴広報課長（司会）

### 【第一部 懇談】

質問内容	担当部署
1. 東武東上線中板橋駅付近の立体化について	都市整備部
2. 区立板橋公園の整備について	土木部
3. 東武東上線立体化に伴う高架下の活用について	都市整備部
4. 区立板橋公園の整備工事に伴う旧大山小学校跡地の暫定開放について	土木部・地域教育力担当部
5. 区立板橋公園こどもの池の運営について	土木部
6. 賃貸マンションの建築について	都市整備部
7. 旧養育院病院跡地について	健康生きがい部
8. 高齢者が住みやすいまちづくりを進めるための提案について	健康生きがい部

### 【第二部 地域の実情についての意見交換等】

#### 報告内容

1. 仲町地域の防災訓練の取組について

### 【区からの情報提供】

## 【区長挨拶】

皆様、こんにちは。ご多忙のところ、仲町地区の皆様にお集まりいただき、また、日頃から区政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。

また、自治会活動などを通じて、住民相互の親睦と交流を深め、地域の活性化と安心・安全なまちづくりに大きな貢献をされ、多くの行事に参加していただき、誠にありがとうございます。

仲町地区の青少年健全育成事業では、7月の青少年野外教室、10月の芋ほり体験、12月のドッジボール大会など、様々な事業を実施していただいております。

青少年野外教室で宿泊する八ヶ岳荘につきましては、今年4月に改修が完了し、キャンプファイヤー場や屋外炊飯場など、大きく改修いたしましたので、またお越しいただければと思っております。

また、環境行動委員会事業では、環境標語を管内小学校、中学校から募集し、毎年約千点近くの応募があると聞いております。子どもたちの環境保全に対する意識啓発に、大きく貢献していただいているところです。

さて、去る4月21日に行われました、板橋区長選挙におきまして、多くの区民の皆様から、大変大きなご支援をいただき、四期目を務めさせていただきます。

区民の皆様が、生涯を通じて、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをつくるために、努力をしていきますので、皆様のご支援を改めてお願い申し上げます。

今年度は、「板橋区基本計画 2025」の第二期目のアクションプログラムとして策定した、「いたばし No.1 実現プラン 2021」のスタートの年度であります。

これまでの取組を継承しながら、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」を一つの契機として、次世代につないでいくためのレガシーに焦点を当てた施策にも、取り組んでいきたいと考えております。

また、SDGs という、国連が定めた持続可能な社会を実現するための国際目標があります。板橋区は積極的に進めており、都内では第1位の評価をいただいております。

実現に向けては、これまでの環境に加えて、社会、経済、文化といった、あらゆる分野のバランスが取れた取組が重要であり、さらなるステップアップを図っていく必要があります。

区民の皆様と手を携え、板橋区が「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるよう、板橋区の新たな魅力を創造し、発信していくとともに、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。

引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

前回の懇談会から早いもので、3年が経過し、仲町地区の懇談会については平成28年11月14日に実施しました。今回も、地域の課題はもとより区政全般にわたる課題や要望などを伺い、地域の課題解決、そして、地域の発展につなげてまいりたいと考えております。

短い時間ですが、有意義な懇談会にしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

仲町地区の皆様との懇談会を楽しみにしてまいりました。どうぞ、皆様よろしく申し上げます。

## 【第一部 懇 談（質問と回答の要旨）】

### 1. 東武東上線中板橋駅付近の立体化について

質問	東京都からは、都道と東上線が交差している踏切について、「踏切立体化対策」を行う旨説明がありました。中板橋駅付近には都道がないため対策の対象とならないようです。中板橋駅付近の立体化については、板橋区が主体となって推進するよう要望いたします。
区長回答	<p>今年3月、地元の皆様から「中板橋駅付近」の鉄道立体化の要望が、東京都と板橋区へ提出され、多くの賛同者の署名からは、皆様の強い熱意が伝わってきております。板橋区としても、取組を前進させたいと思っております。</p> <p>東京都は、踏切対策を促進するため、平成16年に「踏切対策基本方針」を策定し、板橋区内は、東武東上線の「大山駅付近」と「ときわ台～上板橋駅付近」の2区間を「鉄道立体化の検討対象区間」として抽出しました。</p> <p>昨年12月には、「大山駅付近」連続立体交差化計画の都市計画案等の説明会が開催され、東京都が事業に向けた手続きを進めています。</p> <p>「中板橋駅付近」については、「大山駅付近」の連続立体交差の進捗を見極めながら、今後、地元の皆様のご意見を踏まえ、区が主体となり東京都と連携を図り、踏切の安全対策について調査・研究を進めてまいります。</p>

### 2. 区立板橋公園の整備について

質問	板橋公園は今後整備が予定されているが、交通公園として長年親しまれてきた経緯を踏まえて、交通公園としての機能を残した形での公園整備を提案、要望いたします。
区長回答	<p>板橋公園については、交通公園として永きにわたり多くの区民に親しまれてきた経緯や、東京都の定める避難場所としての立地条件を踏まえ、旧大山小学校跡地との一体的な活用により、区の中核的公園の一つとなるような公園づくりをめざしております。</p> <p>このため、交通公園としての役割を取り巻く社会的な環境・ニーズの変化、防災に対する機能のあり方なども踏まえつつ、地元のニーズ・ご意見を集約し、令和2年度末までに区としての基本方針を定めたいと考えています。</p> <p>その後、専門家による提案やコーディネートを受けて、特色ある基本計画・基本設計をまとめることで、地域の皆様に愛され、板橋の新しい魅力づくりにも貢献できる公園づくりを、皆様とともに進めていきたいと思っております。</p>

### 3. 東武東上線立体化に伴う高架下の活用について

<p><b>質問</b></p>	<p>大山駅周辺では、補助26号線、東上線立体化、駅前広場の整備など、地域の再生に向けた取組が進んでいるところです。</p> <p>立体化で生み出される高架下のスペースに、コミュニケーションが取れる場所を作ることを要望いたします。カフェなどを運営し、賑わいを途絶えさせない活動が、町会でもできると考えています。また、東武鉄道や東京都などの関係機関への働きかけも併せて要望します。</p>
<p><b>区長回答</b></p>	<p>東京都が事業主体として進めている東武東上線大山駅付近の連続立体交差化計画では、鉄道の構造形式について、昨年12月に高架式で都市計画案が示されており、今年度中の都市計画決定をめざしています。</p> <p>連続立体交差事業により新たに生み出される高架下スペースについては、鉄道事業者の敷地ですが、連続立体交差化に関する要綱等に基づき、利用可能な区域の15%相当部分を、東京都や区が無償で公共のために利用することができるかとされており。</p> <p>公共利用部分を含めて、施設の具体的な用途や配置等の全体の高架下利用計画については、今後、事業の進捗にあわせて、地域の要望や意見も参考に、東京都や東武鉄道株式会社と協議を進めていきたいと考えています。</p>

### 4. 区立板橋公園の整備工事に伴う旧大山小学校跡地の暫定開放について

<p><b>質問</b></p>	<p>学校施設については、申込みをしても空きがない状況であり、新しくスポーツを推進しようとする団体が、学校施設を使用することが困難な現状があります。</p> <p>今後、板橋公園を整備するにあたり、旧大山小学校跡地をボール使用ができるように、整備して暫定開放することはできないでしょうか。</p> <p>また、開放にあたっては、安全かつ平等に地域の方々が使用できるルールづくりを町会と協力して協議することを要望いたします。</p>
<p><b>区長回答</b></p>	<p>学校施設開放は、小中学校の校庭や体育館等を学校教育上、支障のない範囲でスポーツや文化活動の場として、地域の皆様へ開放しております。</p> <p>中学校の校庭は、部活動のため現状では開放していませんが、小学校の校庭は、土曜日、日曜日及び祝日の午前中、厳密には午前9時から正午までを団体開放しており、主に少年野球・少年サッカーなどに使用しております。</p> <p>区の青健事業などは教育委員会規則に基づき優先的に使用承認を行っているところです。</p> <p>旧大山小学校跡地については、今年度末を目途に暫定整備を実施し、令和2年度からの開放を行いたいと考えております。</p> <p>板橋公園としての本整備を始めるまでの間は、一般の区立公園と同じ運営方法により、区民の皆様が、平等に利用の機会を得られるようにしたいと考えております。</p> <p>また、板橋公園としての本整備にあたっては、施設内容も含め、利用のルールについても地域の皆様のご意見やご要望を、できる限り反映できるようにしてまいります。</p>

## 5. 区立板橋公園こどもの池の運営について

<p><b>質問</b></p>	<p>(1)ろ過機の設置されている池と、水の入替えをしている池と人件費が同額であることが納得できません。運営委託仕様書では、ろ過機の設置されていない池は、池の水半分、場合によっては全部を入れ替えることになっております。残留塩素濃度を重視しているようですが、利用者から見たとき、汚れがあれば苦情もきます。</p> <p>水を取り替える時間は、約3時間半の時間を要しており、水入れ担当者は、午前6時より作業を開始しています。</p> <p>(2)昨年度より、人件費の支払いはあったが、暑さ指数による中止が、開催期間中8.5日ありました。</p> <p>今年度の人件費については、開催期間中の3割にあたる12日中止になった場合は、受託契約の7割の支払いとなる連絡が、文書でありました。人件費の捻出が出来なくなり、運営に支障がでる可能性があります。</p>
<p><b>区長 回答</b></p>	<p>(1)ろ過機の設置されていない池では、日々2分の1ずつの入替えをお願いしているところですが、全て入替えを行って、子どもたちに、より綺麗な水で遊んでほしいというお気持ちは、大変ありがたいことだと感じており、感謝しています。</p> <p>区としても、全ての水を入れ替えた方が、2分の1ずつの入替えに比べて水質が良くなることは認識していますが、従事される皆様のご負担や、板橋公園の場合1回の水の入替えに、約31,000ℓ、家庭用風呂約150杯分の水が必要とするなどの問題があると考えております。</p> <p>水の入替えや水質の維持については、今年のこどもの池の運営の中で、現地で水質の状況を含めて具体的に確認させていただき、最善の方法を町会の皆様と話し合いながら、より良い方法を考えていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>(2)猛暑日の発生日数が増加を続ける中で、区民の皆様の健康上の事故を防止するため、区は「熱中症防止に対する区事業の実施判断基準」を昨年整備いたしました。</p> <p>こどもの池の実施についても、この基準に基づいて判断したところです。</p> <p>本年度のこどもの池の運営も、中止日数が何日になるか想定ができず、運営上のご心配はごもつものことと考えています。</p> <p>先般、運営者説明会でご説明させていただいた内容は、そうしたご心配への対応として、たとえ開催日数が7割以下になったとしても、7割分の日数の人件費はお支払いする、という趣旨であります。</p> <p>利用する子どもたちはもちろん、運営に当たられる皆様の健康上の危険性を極力抑える必要から、中止する日が発生することは、やむを得ない措置であることもご理解いただきたいと思っております。</p>

## 6. 賃貸マンションの建築について

質問	今建設されているマンションは、単身所帯入居用のワンルームマンションが多く見受けられます。今後は、単身向けマンションだけでなく、地域に根付いて生活をし、ともに協力してまちづくりができる人たちが住むマンションが、多く建てられるような政策を要望します。
区長 回答	区内におけるワンルームマンション建設は、近年、高い水準で推移し、近隣にお住まいの方々とのコミュニティの形成や、今までの生活環境への影響、マンション管理に関する不安の声があがっていることは承知しております。 こうした区民の皆様の声を受けて、本年3月に、今まで定めていたワンルームマンション建設に関する条例を更に強化するため、一部を改正し、大規模ワンルームマンションへの家族向け住戸の設置を義務化しております。 今後は、ワンルームマンションを建設する場合、必ず家族向け住戸を設置し、単身世帯と家族世帯がバランスよく居住することで、地域における安心な住環境が実現するように努めていきたいと考えております。

## 7. 旧養育院病院跡地について

質問	旧養育院病院跡地が東京都の土地であることは承知しているが、今後の整備について、区が知っている範囲内でよいので、教えてほしいです。
区長 回答	東京都は今年2月に「板橋キャンパス跡地活用プラン」を策定し、公表しております。 ①高齢・障害サービスゾーン、②社会福祉施設建替え促進事業ゾーン、③防災ゾーン、④多目的スペースの4つのゾーンに区分し整備されます。 各ゾーンの整備内容としては、①高齢・障害サービスゾーンには、「都有地活用による地域の福祉インフラ整備事業」として公募により、高齢者及び障がい者向けの福祉サービス事業所が整備されます。 ②社会福祉施設建替え促進事業ゾーンには、23区内の老朽化した特別養護老人ホームの建替え期間中の代替施設が2棟整備されます。 ③防災ゾーンには、東京都の災害備蓄倉庫が整備されるほか、北側エリアは、公園と同じようなオープンスペースが設けられます。 そして、④多目的スペースは、地域交流イベント等に活用できるスペースとなっております。 また、南側の都道に面した部分は、地域住民及び施設利用者の憩いの空間となる遊歩道が整備されるほか、快適な動線を確保するために南北方向を貫く構内通路をはじめとする通路が敷地内に設けられ、回遊性に配慮した動線が確保される予定と聞いております。 整備スケジュールでは、「高齢・障害サービスゾーン」が2022年度末、令和5年3月に施設が開設される予定とされており、これ以外のゾーンの整備完了は、2025年度末、令和8年3月の予定と聞いております。

	<p>今後、この跡地活用プランに基づき、各ゾーン等の整備が進められることにより、地域の福祉ニーズへの対応や防災性の向上などが図られていくものと考えております。</p>
--	---

## 8. 高齢者が住みやすいまちづくりを進めるための提案について

<p><b>質問</b></p>	<p>離職後の一人暮らし単独世帯の増加が予測されています。高齢者は時間の経過とともに、体力や生活力が低下し、外出を控え、家に閉じもこもりがちとなり、要介護状態となります。このことが家族の負担、介護・医療費の増大にもつながっていると思います。</p> <p>こうした状況を避けるためには、地域において、高齢者の社会参加の機会を確保し、住民相互の交流・ふれあい・支え合いを促す取組と事故や犯罪がなく安心して出かけられる生活環境を整備するために、「居場所」づくりを進めることが必要であると考えます。仲町地区の人口・高齢者の生活実態の把握と課題の抽出を行い、高齢者にとって住みやすいまちづくりを高齢者の参画・協議のもとに促進することを提案いたします。</p>
<p><b>区長回答</b></p>	<p>高齢社会が進展する中、区では、高齢者の社会活動を促進することで、生きがいの助長と健康の維持・増進を支援するとともに、地域社会を支える活動の担い手づくりを進めております。</p> <p>仲町地区では、町会・自治会や民生・児童委員の皆様の参加のもと、昨年度「支え合い会議」が立ち上がりました。</p> <p>「支え合い会議」は、地域で高齢者の社会参加や支え合いを深めるなど、高齢者の生活支援に取り組むものであります。</p> <p>本日お配りした「仲町エリアマップ」には、高齢者施設や子どもの施設を地図上に落とししました。これにより活動の見える化をしていきたいと思っております。地図には福祉の森サロンや認知症カフェなど、高齢者に関する様々な居場所・活動場所が記載されています。</p> <p>「支え合い会議」では、高齢者の皆様が日ごろの生活の中で、こうした地域の活動に今まで以上に参加していただけるよう、より分かりやすいマップの作成にも取り組んでいるところです。</p> <p>地域の皆様には、今後とも、地域の高齢者の支援に一層のご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>「仲町エリアマップ」の高齢者関係の状況については、健康生きがい部長から説明いたします。</p> <p><b>(健康生きがい部長からの説明)</b></p> <p>お配りした資料を使用し、説明させていただきます。</p> <p>仲町エリアマップをご覧ください。</p> <p>仲町おとしより相談センターでは、介護・福祉・健康・医療など、高齢者とそ</p>

の家族を支える総合相談窓口です。保健師やケアマネージャーなどの専門職が対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

特別養護老人ホームは、要介護3以上の方で、自宅での生活が難しい方が入居する施設です。介護老人保健施設は、リハビリ中心の介護を行う施設です。

認知症カフェ(3か所)は、認知症の本人や家族、医療・介護の専門職、地域の方が気軽に参加し、交流や相談ができます。月1回または月2回の開催となっております。

次に、仲町エリアマップ説明資料をご覧ください。

板橋区版AIPは、住み慣れた地域で元気に生活を送ることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」をトータルに支援する取組です。支え合い会議は、その重点事業の一つです。

福祉の森サロンは、高齢者等の孤立や閉じこもりを防ぐため、誰でも気軽に立ち寄れる「地域の集いの場」です。仲町地区では、仲町地域センターを活動拠点とするサロンが6か所、仲町ふれあい館を活動拠点とするサロンが1か所ございます。

仲町ふれあい館は、老人福祉センターとして60歳以上の方にご利用いただいております。ふれあい館では、生活相談や健康相談のほか、多様な教養講座とレクリエーション事業を実施しています。仲町ふれあい館では、年間延べ約7万人と多くの方にご利用いただいております。

介護関連施設です。仲町地区には、介護老人福祉施設である特別養護老人ホームと、介護老人保健施設である「クローバーのさと」があるほか、いわゆるデイサービスの通所施設が14か所設置されています。

より詳しいご案内は、仲町おとしより相談センターや、おとしより保健福祉センターまでお問い合わせください。

板橋区版AIPは、板橋区版地域包括ケアシステムのことです。7つの重点事業がございますが、大きく分けると4つに分けられます。

医療・介護では、医療・介護関係者の連携を深め、専門的な見地から、高齢者のケアを支えます。

住まいでは、安心した生活を送ることができるよう、見守り活動の充実を図ります。

介護予防では、運動機能を高めること、栄養改善を図る講座など、健康で元気な生活が送れるよう、介護予防の活動を展開します。

生活支援では、先ほどご説明した支え合い会議で、地域で支え合う活動に取り組みます。



## 【第二部 地域の実情についての活動報告等】

（司会）本日、地域で様々な活動をされている方にもご参加いただいております。活動の様子などを、お話いただければと思います。

（区民）本日は、仲町地域の防災訓練の取組について、報告をいたします。

防災訓練については、区の防災訓練は年に1回3月上旬に、行われていると思います。どこの地域でも各町会に、それぞれが防災訓練を実施しているところです。

仲町町会は、近隣の弥生町南町会・弥生町北町会とともに、3町会合同で防災訓練を実施しています。昨年は、11月23日の祝日に、弥生小学校校庭をお借りして実施いたしました。

当日は、板橋消防署、消防団、区の地域防災支援課など、多くの関係機関の協力・ご指導のもと、各町会の防火防災部が中心となって、様々な訓練を行いました。

簡単に訓練の内容をお話しします。

まず、朝8時半に、訓練参加者は、それぞれの地域の一時集合場所に集まり、皆で避難場所である弥生小学校をめざします。学校到着後に、避難者名簿の作成訓練を行い、全員が順番に備蓄倉庫の中に入り、どんな防災備蓄品があるのか実際に見て確かめます。

その後は、町会ごとに「起震車・煙ハウス体験」「AED使用訓練」「消火器・スタンドパイプ使用訓練」をローテーションで、全員が体験します。

最後に、各町会の防火防犯部による、D級ポンプの放水デモンストレーションを行います。

おそらく、どこの地域においても、訓練の内容はだいたい同じだと思います。ひとつ特色として申し上げるならば、近隣の3町会が合同で行う点だと思います。3町会というのは、中間の規模となります。合同訓練を長年継続することで、技術の維持向上や防災意識を高めることができるのは、もちろんのこと、自分の町会だけでなく、少し先に住んでいる方々と顔見知りになることができます。

仲町と弥生町との関わりについて、補足してお話をいたします。

25年前の、平成5年に、「仲町」「弥生町」「南常盤台一丁目」の町会を構成員とする「防災まちづくりの会」を発足し、各町会の代表者が集まり、地域の防災広場、防火水槽、防災井戸などの整備に関わりました。当会は、すでに解散しておりますが、このときの経験もあり、協働して、防火・防災に取り組むことの大切さを私たちは実感しています。

この先いつ・どこにいたときに災害が起きるか、誰にもわかりません。もしものときに、落ち着いて行動ができ、町会の枠を超えて、助け合うことができること、その目に見えない関係性を保つことが合同防災訓練の利点のひとつであると思います。

単に防災活動だけを行うのではなく、地域のコミュニティとして、地域の様々な活動と防災活動を組み合わせること、同時に消防団や学校、地域の様々な団体と連携することが、防災活動の活性化や継続につながっていきます。

つまり、平常時の地域の活動・連携が防災活動にとって重要な要素であると考えます。

また、東日本大震災や熊本地震のときに、中学生・高校生が活躍したと聞いております。学校においては、ゆとりの時間などを活用し、炊き出し、放水、応急手当等の訓練を半日から一日かけて、子どもたちに教えてほしいと思います。既に板橋第三中学校では実施していると聞いておりますが、ぜひ、板橋区からも、もっと発信していただきたいとお願いいたします。若い親子なども、このようなことを経験していくことは、重要であると思います。

合同訓練は、3町会が持ち回りで、当番町会となります。令和元年度は弥生町南町会が当番です。今年も、引き続き3町会が一致協力をして、実のある訓練を実施してまいります。

これからも関係機関の皆様のご指導、ご協力をお願いします。

**(区長)** 自助、共助、公助がございしますが、共助をどのように行うか、地域防災力の向上は、地域コミュニティ力の向上にあると感じました。仲町町会をはじめ仲町支部の町会・自治会の皆様には、日頃から防災訓練などを通じて、地域防災力向上に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

また、「防災まちづくりの会」においては、防災広場や防災井戸の整備のほか、行き止まり道路における避難路整備など、災害時のまちの安全性の向上にご尽力いただき感謝申し上げます。

複数の町会が合同で訓練を行う取り組みは、他の地域においても実施されている町会・自治会もございしますが、まさに町会の枠を超えた地域の協力関係を強固にすることにより、自助・共助・公助における共助に関する意識啓発につながると考えております。

このような取組を続けていただくことで、仲町地区全体の防災力の更なる強化につながっていくことを期待しております。区としても、様々な形で支援していきたいと考えます。

また、中学生や高校生が地域とともに行った防災訓練としては、ご紹介いただいた区立板橋第三中学校が地元町会と合同で行った訓練のほか、区立高島第三中学校と都立高島高校の生徒が地元町会と合同で訓練を実施するなど、区内でもいくつかの事例も聞いております。

区では、応急救命に関する知識と技術の習得、尊い命を救う心を養うことを目的に、区立中学校の生徒を対象として普通救命講習を実施しているが、中学生と地域との合同の訓練の実施についても、教育委員会と連携して、板橋第三中学校や高島第三中学校などの取組について広く周知を図っていきたいと思っております。

貴重なお話をありがとうございました。

**(司会)** 先ほども、高齢者施設、A I Pの説明の際ご覧いただきましたが、ここで、仲町エリアマップについて、簡単にご説明させていただきます。

お手元の地図「仲町エリアマップ」と説明資料を再度、ご覧ください。

この地図は、皆様がお住まいの仲町地区内の主な施設とその施設などを利用してご活動いただいている、地域活動の状況をまとめたものです。簡単にご紹介させていただきます。

始めに、地域で活動する団体などを紹介しています。表の最下段に、ただ今、活動報告をしていただいた消防団について、記載しております。

続いて、施設の紹介をしています。

まず、仲町地域センターです。こちらは、皆様ご存知のとおり、様々な地域活動の拠点となります。地図の中央に位置しています。

次ページの高齢者関係の施設については、先ほど、ご説明させていただいたとおりです。

次に子ども関係です。子育て施設として、板橋区の児童館は、「子育て応援C A P ‘S」として乳幼児向けの年齢別プログラムなど様々な事業を行っています。

続いて、小学校・中学校についてです。地域内には板橋第六小学校、弥生小学校では、放課後や土曜日、学校内で小学生が楽しく安全に過ごすことができる居場所として、あいキッズ事

業を実施しています。あいキッズでは、地域との交流活動も実施しています。

また、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現に取り組むため、コミュニティスクールの来年度からの本格導入に向けて、準備を進めております。詳細については、後ほど、第三部でご紹介します。

そして、小学校、中学校では、災害時に避難所を開設します。詳しくは、このあと、第三部で、仲町防災マップの説明をさせていただきます。

最後に、文化財の項目に記載はありませんが、仲町管内のハッピーロード商店街の入り口付近には「お福さん」の愛称で、地元の皆様に愛され、多くの方々が参拝されている「大山福地蔵尊」をご紹介します。

地域では、毎年4月に福地蔵尊桜まつりを開催されているほか、毎年8月の法要の際には、参拝者の浄財の一部を板橋区、社会福祉協議会、保護観察協会にご寄付いただいております。

以上で、簡単ではございますが、仲町エリアマップについて、ご紹介させていただきました。

### 【第三部 区からの情報提供】

1. 「いたばしNo.1実現プラン2021」について
2. 板橋区コミュニティスクールについて
3. 仲町地区防災マップについて
4. 特殊詐欺について
5. 熱中症対策について
6. 介護予防事業について  
(「高齢者の暮らしを拓げる10の筋力トレーニング」実演あり)
7. 区立美術館リニューアルについて

### 【区長閉会挨拶】

皆様、長時間にわたりまして誠にありがとうございました。地域に対する要望をお聴きいたしました。要望の中には、地域の課題や地域の安心・安全の内容もございました。後半では、区の施策の主なものをご紹介いたしました。今日は、最後に10の筋トレをやりました。10の筋トレについては、ぜひ多くの方々にやっていただくと幸いに思います。

今後の地域は、行政経営だけでなく、地域の経営、都市経営の観点から、まちづくりをする必要があると感じています。中長期的な面でまちづくりを、考えて行くことが重要であると認識いたしました。特に若い世代の交流をするような魅力あるまちづくりを行うこと、健康長寿のまちづくり、さらに未来をつなぐまちづくりをしてまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

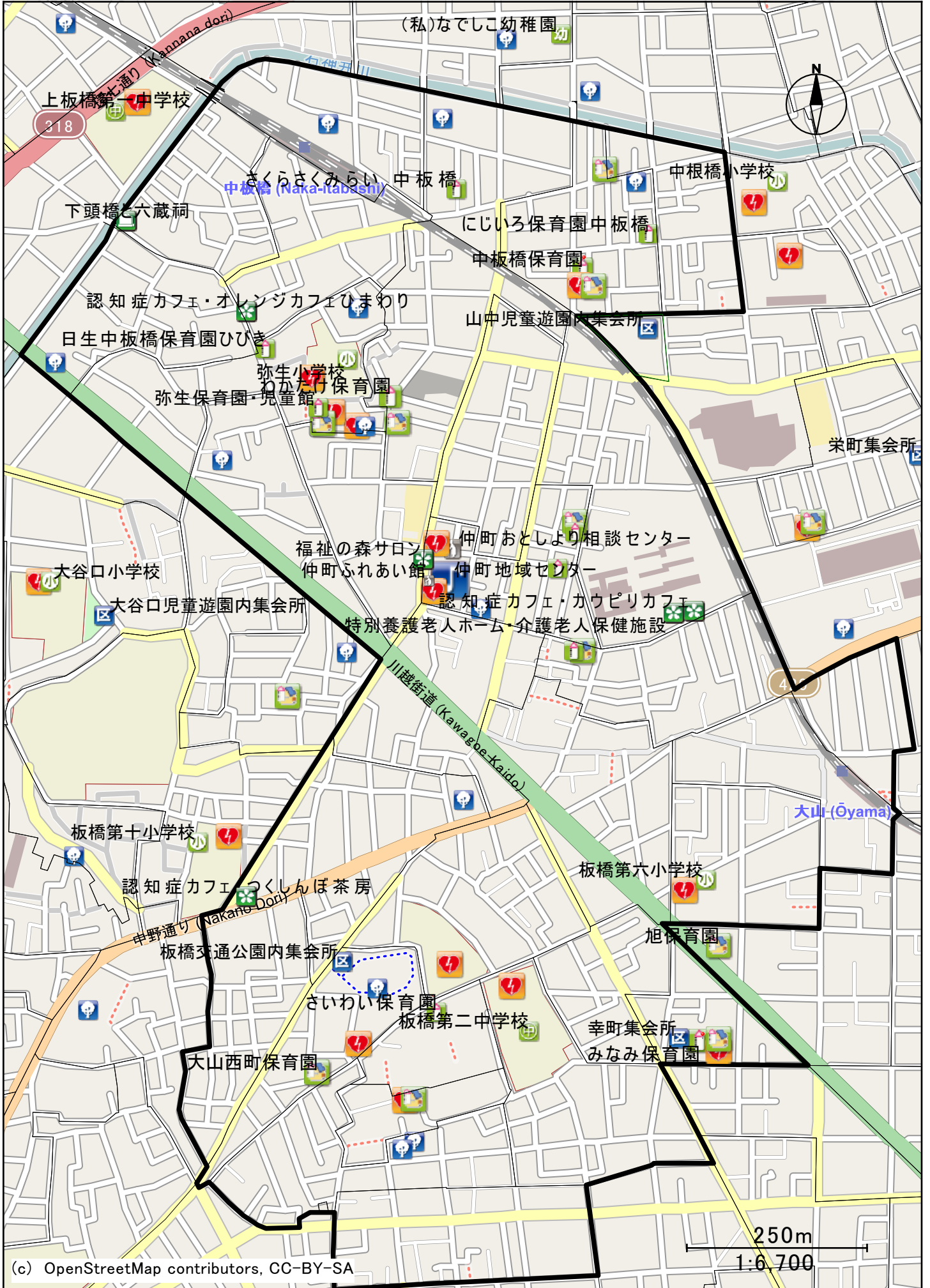
今日、いただいたご要望等については、すぐにできるものはすぐに実施し、検討すべきものについてはしっかりと検討し、将来に向けて準備をしていきたいと思っております。

また、将来に対し投資できるような内容になるように考えていきたいと思っております。

町会自治会を含め大変な尽力をいただいていることがよくわかりました。これからも地域のリーダーとして安心・安全なまちづくりを進めるために、より一層の活動と活躍、また、

区政へのご協力をお願いいたします。

仲町地区の皆様のみますますの活躍とご発展を祈念いたしまして、お礼のご挨拶にかえます。  
本日は本当にありがとうございました。



(c) OpenStreetMap contributors, CC-BY-SA

- |    |         |     |     |     |       |     |    |     |     |        |
|----|---------|-----|-----|-----|-------|-----|----|-----|-----|--------|
| 凡例 | 保育園・児童館 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高齢者施設 | 集会所 | 公園 | 文化財 | AED | 赤ちゃんの駅 |
|----|---------|-----|-----|-----|-------|-----|----|-----|-----|--------|

## 仲町エリアマップ

### 【地域で活動する主な団体】

団体名	仲町地区人員	活動内容
青少年委員 【全体定数60名・現員57名】	3	青少年健全育成地区委員会の主要構成員として、宿泊キャンプやスポーツ大会などの企画・運営に参加しています。地区において、ジュニアリーダー会を組織し、地域の子どもの育成に努めています。 また、青少年委員会を組織し、他地区や他区の委員との情報交換、研修活動、広報活動などを行っています。
スポーツ推進委員 【全体定数70名・現在62名】	2	青少年健全育成地区委員会の主要構成員として、宿泊キャンプやスポーツ大会などの企画・運営に参加しています。 また、スポーツを通じて区民の皆さまが毎日健康で元気に過ごすことができるよう、さまざまな活動を行うとともに、地域スポーツ振興のコーディネーター役として、区民の皆さまの生涯を通じたスポーツ活動のお手伝いをしています。
民生・児童委員 【全体定数532名・現員526名】	32	各地区において、地区民生児童委員協議会を設け、活動されています。 地域の方々の悩みごとや困りごとのご相談に応じ、区や関係機関へつなぐかけ橋の役割を担っています。 生活に困っているなどの相談に応じたり、ひとりぐらしの高齢者の見守り活動をしています。また、児童については、家庭や子どもの問題について、地域・家庭・学校・その他の関係機関とも連携して活動しています。
保護司	7	犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、地域社会の浄化をはかる活動をしています。  [保護観察]犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生を図るための約束事(遵守事項)を守るよう指導するとともに、生活上の助言や就労の手助け等を行います。  [生活環境の調整]少年院や刑務所に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰できるよう、釈放後の帰住予定地の調査、引受人との話し合い等を行い、必要な受け入れ態勢を整えます。  [犯罪予防活動]犯罪や非行を未然に防ぐとともに、罪を犯した人の更生について理解を深めるために、世論の啓発や地域社会の浄化に努めるものです。毎年7月は、“社会を明るくする運動”強調月間として、講演会、シンポジウム、ワークショップ、スポーツ大会等様々な活動が展開されています。
消防団 板橋2分団【定員45名、現在員26名】 板橋3分団【定員45名、現在員32名】 板橋5分団【定員42名、現在員30名】 3分団合計【定数132、現員数88】		消防団は、消防署と同じく消防機関として地域の災害に対応しています。消防団員は、非常勤の特別職公務員であり、普段は様々な仕事に就いている人たちが、火災・風水害・震災時に消防団員として活動します。 消防団員は、基本的にその地域に居住している方で構成されているため、地域に精通し、地域に密着した防災力として期待されています。 災害以外にも、災害時の活動に備えた訓練や、地域の人たちに対する応急手当の指導、お祭りやイベント会場での警戒活動、町会などで行われる防災訓練の指導なども行っています。

### ○地域センター

町会連合会支部・青少年健全育成地区委員会・環境行動委員会など、地域活動の拠点となります。  
また、レクリエーションホール、洋室、和室など、集会施設の貸出を行っています。

### ○集会所

地域のふれあいの場として、会合や趣味など、様々な用途で利用できます。

## 仲町エリアマップ

### ○高齢者関係

<p>おとしより相談センター</p>	<p>介護・福祉・健康・医療などさまざまな分野から総合的に高齢者とその家族を支える地域の窓口です。高齢者本人はもちろんのこと、家族や地域住民の悩みや心配ごとの相談をお受けしています。 また、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が連携をとりながら、地域に暮らす高齢者の介護予防や日々の暮らしなどをさまざまな側面から総合的にサポートしています。</p>
<p>板橋区版AIP (地域包括ケアシステム)  支え合い会議</p>	<p>住み慣れた地域でいつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が包括的・一体的に提供されるシステム(地域包括ケアシステム)の構築に向けて、「板橋区版AIP」として7つの分野の重点事業に取り組んでいます。</p> <p>～支え合い会議(第2層協議体)～ 重点事業のひとつである「生活支援体制整備事業」は、高齢者が住み慣れた地域で元気に過ごすため、地域の多様な主体が参画し、高齢者の社会参加や支え合いを深めるなど、高齢者の在宅生活を支援する取り組みを支援するものです。 この地域住民が主体となって、高齢者の生活を支える活動を行う場が「協議体」です。 板橋区全域を「第1層」、各地域センター担当圏域を「第2層」とし、担当圏域ごとに会議体を設置し、地域内の調整役を担う生活支援コーディネーターも配置していきます。 協議体の活動を通して、地域の高齢者のニーズを把握し、これに応える資源(サービス等)のマッチングや情報集約等を行います。 各地域の状況に合わせ、皆さんと話し合いながら進めるため、構成メンバーや人数、取組内容も、地域ごとに異なるのが特徴です。</p>
<p>福祉の森サロン</p>	<p>福祉の森サロンは、高齢者や子育て世帯等の孤立や閉じこもりを防ぐための誰でも気軽に立ち寄れる「地域の集いの場」です。</p> <p>[活動場所:仲町地域センター] ・松ぼっくり&amp;松乃会 ・DekoBOKOでこぼこ ・お達者手帳クラブ ・カラオケドリーム会 ・レッツスマイル ・わかめ会 [活動場所:仲町ふれあい館] ・くれよんクラブ</p>
<p>認知症カフェ</p>	<p>認知症カフェは、「認知症になっても暮らしやすい地域をつくるための」カフェです。 認知症の本人や家族が気軽に立ち寄れる場であり、もの忘れや認知症についての不安を共有し、相談することもできます。</p>
<p>ふれあい館</p>	<p>60歳以上の方が利用することができます。娯楽室、広間、囲碁将棋室、浴室などが設けられ、趣味やレクリエーションを楽しめる施設です。また、介護予防事業やクラブ活動なども行っています。 仲町ふれあい館:利用時間:9時から17時 休館日:月曜日・年末年始</p>
<p>介護関連施設</p>	<p>介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム):クローバーのさと 介護老人保健施設:クローバーのさと 総合事業通所型サービス(要支援者向け):9か所 認知症対応型通所介護:1か所 地域密着型通所介護:4か所</p>

## 仲町エリアマップ

### ○子ども関係

CAP`S(児童館)	板橋区の児童館は、「子育て応援児童館CAP`S(キャップス・Children And Parents' Station)」として、乳幼児向け年齢別プログラムや保護者向けの子育て応援教室など、さまざまな事業を行っています。
赤ちゃんの駅	乳幼児のおむつ替えや授乳ができる場所です。

### ○小学校・中学校

板橋第六小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいキッズ 区内の小学生を対象に、放課後も学校内で楽しく安全に過ごすことができる居場所を提供しています。子ども同士が慣れ親しんだ校庭・体育館等の施設を使って、遊び・文化・スポーツなどの体験活動、地域との交流活動、学習活動等を実施しています。</li> <li>・コミュニティスクール(2020年度導入予定) 学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現に取り組むための仕組みです。現在は、区立全小中学校への本格導入に向けて、推進委員会を設置し、準備・検討を行っています。</li> </ul>
弥生小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所 災害発生時に、避難所として開設します。 板橋第二小学校は、最大1,004名、弥生小学校は、最大854名の避難者の受け入れる想定で、備蓄物資等を準備しています。</li> </ul>
板橋第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所 災害発生時に、避難所として開設します。 板橋第二中学校は、最大1,295名の避難者の受け入れる想定で、備蓄物資等を準備しています。</li> </ul>

### ○文化財

下頭橋と六蔵祠	下頭橋は、寛政10年(1798)に石橋に架け替えられました。名の由来については、諸説があります。一つ目は、旅僧が地に突き刺した榎の杖が、やがて大木に成長した“逆さの榎”がこの地にあったから。二つ目は、川越城主が江戸に出入りする際、江戸屋敷の家臣がここまで来て頭を下げて見送り出迎えたから。三つ目は、橋のたもとで旅人から喜捨を受けていた六蔵の金をもとに石橋が架け替えられたからというものです。また、六蔵祠はこの六蔵の遺徳を讃えて建てられました。
---------	---